アメニティデザイン企業

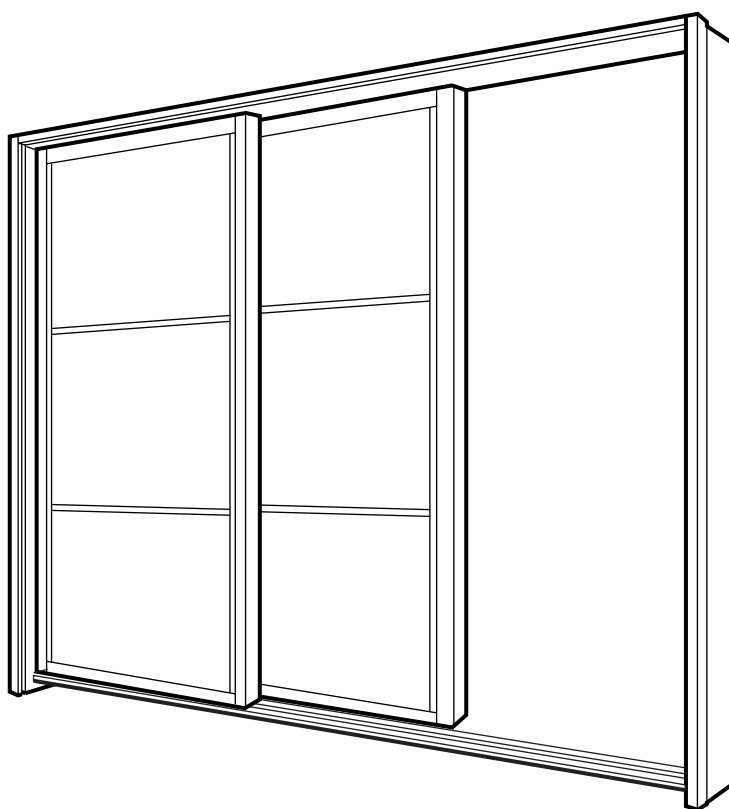
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

# 施工説明書

# 取扱説明書

## ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ>

## （ウッドタイプ・スケルトンタイプ）

## 2枚片引・3枚片引・3枚引違

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

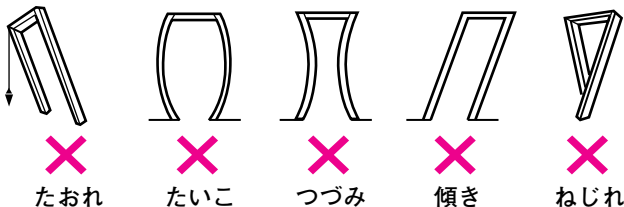
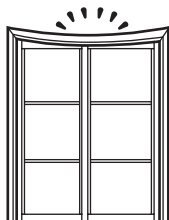
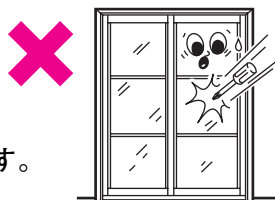
開閉間仕切引戸B-ST091124

# 必ずお守りいただきたいこと

## ⚠施工上注意

ダイケン開閉間仕切RⅢシリーズを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

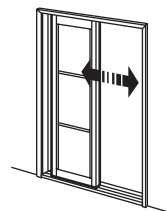
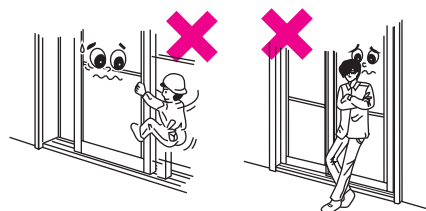
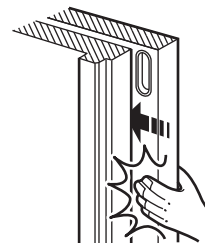
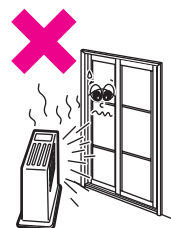
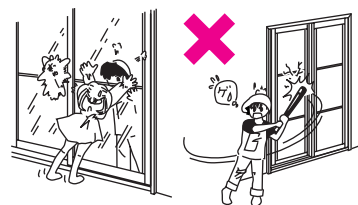
●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
室外や湿気の多い場所、また病院や施設等、不特定多数の方が使用される場所でのご使用はおやめください。

●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
——扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。

●扉は上吊式です。
上枠を取り付けるまぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。
梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

●扉・枠及び金具、採光部に工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
——傷をつけるおそれがあります。

●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。

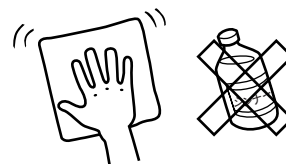
●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
——熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

## ⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

●扉を開閉する際、指をはさまないよう、注意して操作してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●採光部に強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
採光部が割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

## お手入れの方法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

# 目　　次



ホルムアルデヒド発散区分資料

## ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ <引戸タイプ>

F ☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ>をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。
建築確認の際に本資料をご利用ください。

### 製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外（F☆☆☆☆）

| 構成部位 | 内装仕上げ部分（表面） | | | | 下地部分（裏面・内面） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ホルムアルデヒド発散建築材料 | | 発散区分 | 認定番号 | ホルムアルデヒド発散建築材料 | 発散区分 | 認定番号 |
| ①ウッド扉 | 樹脂シート張MDF | 大臣認定品 | 規制対象外（F☆☆☆☆） | MFN-0143 | − | | |

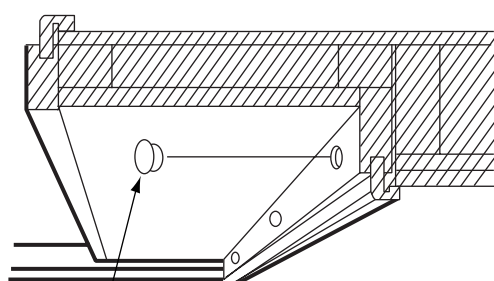
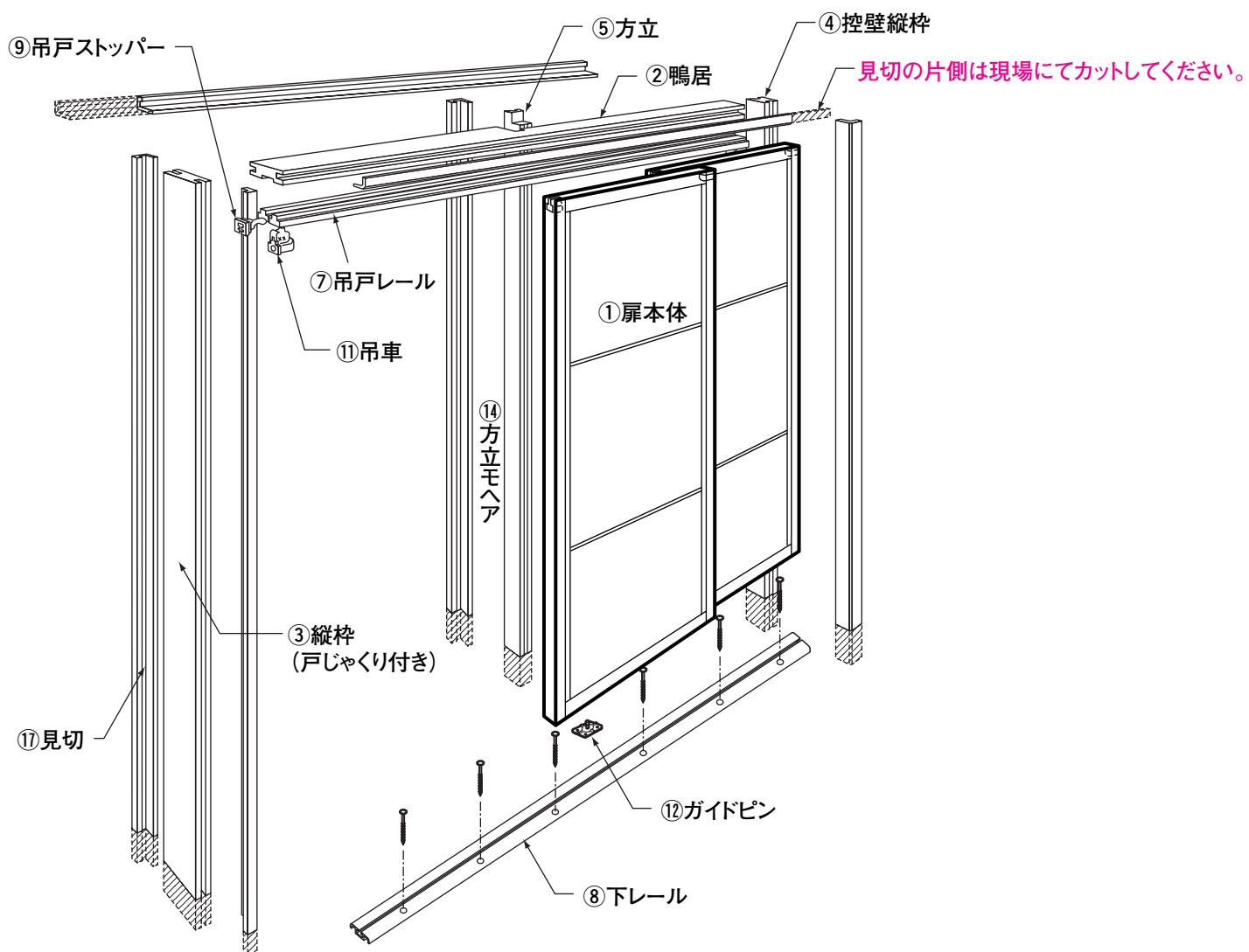
規制対象外部位・告示対象外

| | |
|---|---|
| ①スケルトン扉 | 告示対象外 |
| ②枠/見切 | 規制対象外部位：F☆☆☆☆ 大臣認定品（樹脂シート張MDF）の材料を使用しています。<br>（ホルムアルデヒド発散区分：規制対象外　認定番号：MFN-0143） |
| ③上レールほか | 告示対象外 |

# 全 体 図

※図は2枚片引の例です。

## 〈見切枠〉

⑨吊戸ストッパー
⑤方立
④控壁縦枠
②鴨居
見切の片側は現場にてカットしてください。
⑦吊戸レール
⑪吊車
①扉本体
⑭方立モヘア
③縦枠
(戸じゃくり付き)
⑰見切
⑫ガイドピン
⑧下レール

# 部材・部品表

施工前に必ず部品を確認してください。

| | 部品名称 | | | 必要数量 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 扉セット | ① | 扉本体 | | 2枚片引の場合　2 | | | ウッド扉の場合、1枚は引手違扉（左・右） |
| | | | | 3枚片引の場合　3 | | | ウッド扉の場合、2枚は引手違扉（左・右） |
| | | | | 3枚引違の場合　3 | | | ウッド扉の場合、1枚は引手違扉（左） |
| 枠セット | ② | 鴨居 | | 1 | | | プレカット済み |
| | ③ | 縦枠 | | 2枚・3枚片引の場合　1 | | | |
| | | | | 3枚引違の場合　2 | | | |
| | ④ | 控壁縦枠 | | 2枚・3枚片引の場合　1 | | | |
| | ⑤ | 方立 | | 2枚・3枚片引の場合　1 | | | |
| | ⑥ | 金具セット | | 2枚片引 | 3枚片引 | 3枚引違 | 丸ナット |
| | | | 枠組立ボルト | 4 | 4 | 4 | 枠組立ボルト φ6×45 |
| | | | 丸ナット | 4 | 4 | 4 | |
| | | | 方立組立ビス | 1 | 1 | 0 | 方立組立ビス φ4.2×50 |
| | | | 枠調整ビス | 8 | 8 | 8 | 枠調整ビス φ4.2×55 |
| | ⑦ | 吊戸レール | | 2枚片引の場合　2 | | | L=2386（前用1本） L=2390.5（後用1本） |
| | | | | 3枚片引の場合　3 | | | L=3151.5（前用1本）（中用1本） L=3156（後用1本） |
| | | | | 3枚引違の場合　3 | | | L=2353.5（前後用2本） L=2349（中用1本） |
| | | | レール取付けビス | 2枚片引 | 3枚片引 | 3枚引違 | |
| | | | | 3 | 6 | 5 | 取付けビス――5本／袋（φ4.2×65） |
| | ⑧ | 下レール | | 2枚片引の場合　1 | | | |
| | | | | 3枚片引の場合　2 | | | |
| | | | | 3枚引違の場合　3 | | | |
| | | | レール取付けビス | 2枚片引 | 3枚片引 | 3枚引違 | |
| | | | | 2 | 4 | 5 | 取付けビス　φ3.1×16　5本／袋 |
| | ⑨ | 吊戸ストッパー（端用） | | 2枚片引の場合　1 | | | |
| | | | | 3枚片引の場合　1 | | | |
| | | | | 3枚引違の場合　2 | | | |
| | ⑩ | 中間ストッパー・ストッパーブロック | | 2枚片引の場合　1 | | | 中間ストッパー・ストッパーブロック |
| | | | | 3枚片引の場合　2 | | | 中間ストッパー・ストッパーブロック |
| | | | | 3枚引違の場合　2 | | | 中間ストッパーのみ |
| | ⑪ | 吊車 | | 扉1枚につき　2 | | | |
| | ⑫ | ガイドピン | | 2枚片引の場合　1 | | | 取付けビス |
| | | | | 3枚片引の場合　1 | | | ガイドピン1つにつき4本（φ3.1×20） |
| | ⑬ | ガイドローラー | | 2枚片引 | 3枚片引 | 3枚引違 | |
| | | | | 2 | 4 | 6 | |
| | ⑭ | 方立モヘア | | 方立1本につき　1 | | | 方立に取付済 |
| | ⑮ | 引戸戸当りキャップ | | 8 | | | |
| | ⑯ | 施工説明書・取扱説明書 | | 1 | | | 必ずお施主様にお渡しください。 |



| | 部品名称 | | | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 見切セット | ⑰ | 見切 | 縦　用 | 4 | 壁厚に合わせて5サイズの中から選んでください |
| | | | 横　用 | 2 | |

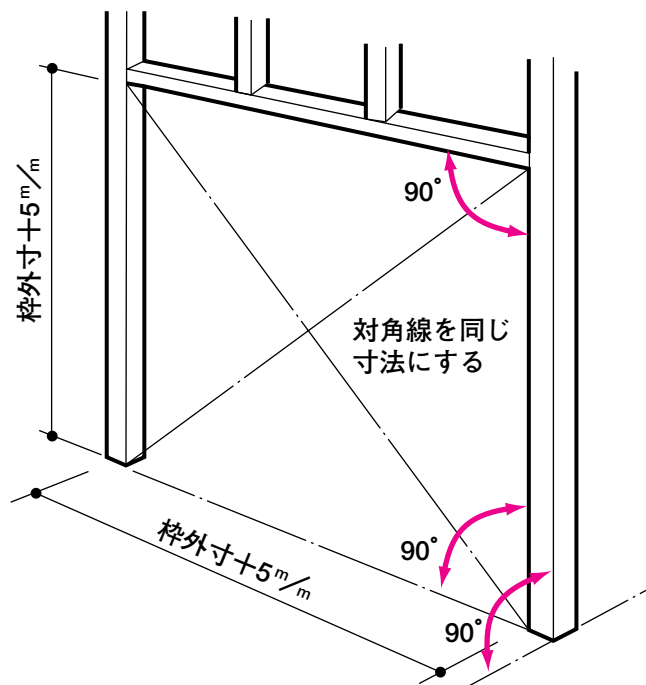
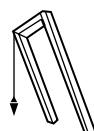
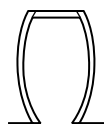
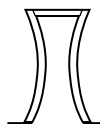
**必要梱包**　扉セット＋引手（ウッド扉の場合）＋枠セット＋見切セット

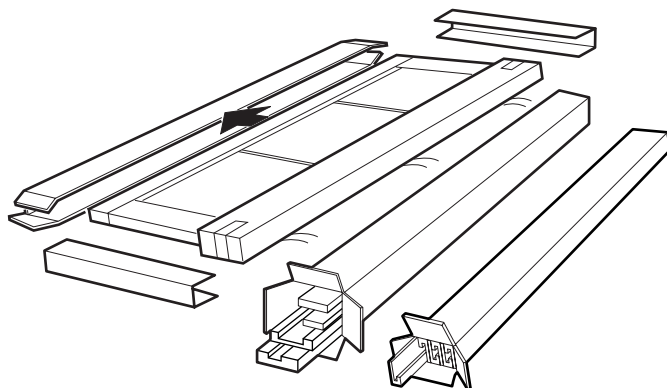
# 準 備

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

| | 6 尺間口 | 9尺間口 | 12尺間口 |
|---|---|---|---|
| 梁の断面寸法 | 105×180mm以上 | 105×300mm以上 | 105×360mm以上 |

◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。
◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

⚠**注意** 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

⚠**注意**
右記の様なことがあった場合扉が閉まらない場合があります。

梱包を開けて部品を確認してください。

見切枠 ⇨ 扉セット＋枠セット＋見切セット
※詳細は全体図を参照してください。

# 施工の前に

7尺高は8尺高枠を兼用します。
7尺高扉をご使用の際は、8尺高枠をカットしてください。
また、縦枠はｔ12フロアに枠を埋めこむ場合の長さに合わせてあります。
現場に合わせて加工してください。（下記参照）

※戸じゃくり部にスペーサーがついている場合は予め外してから下端をカットしてください。

### 枠を床下に埋め込まない場合

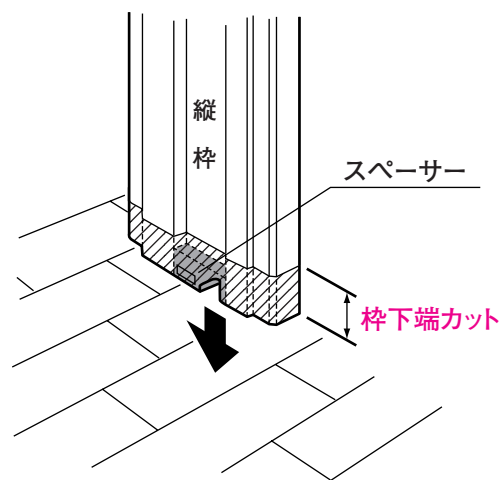
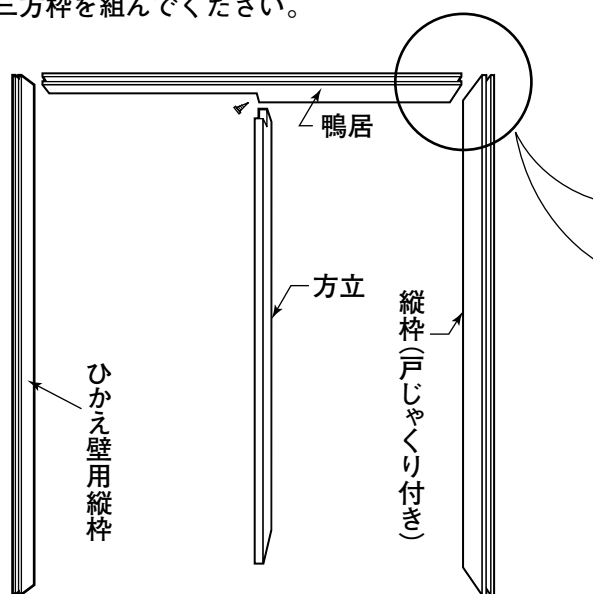
（8尺高扉の場合）：枠下端より12mmカットしてください。
（7尺高扉の場合）：枠下端より297mmカットしてください。

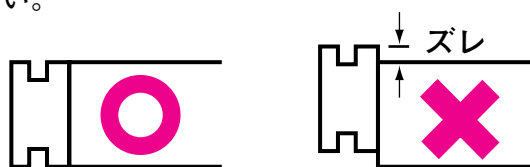
### 枠を床下に埋め込む場合

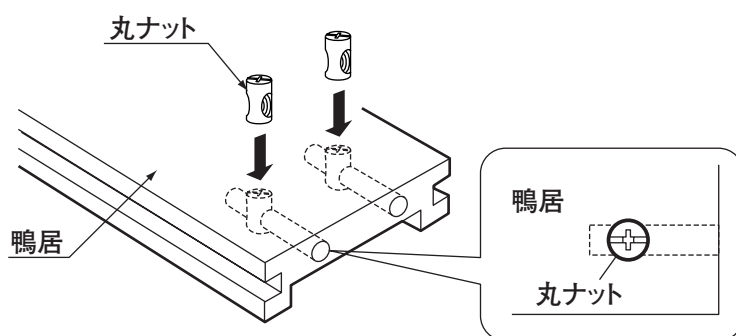
<フロア厚みが12mmもしくは12mmより薄い場合>
（8尺高扉の場合）：12mm ー（フロア厚み）カット
（7尺高扉の場合）：297mm ー（フロア厚み）カット

（例） 8尺高扉を使用し、フロア厚み3mmの時
12mmー3mm＝9mm ⇨ 9mmカット

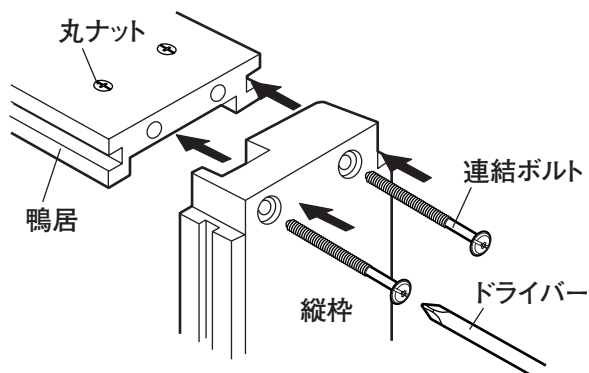
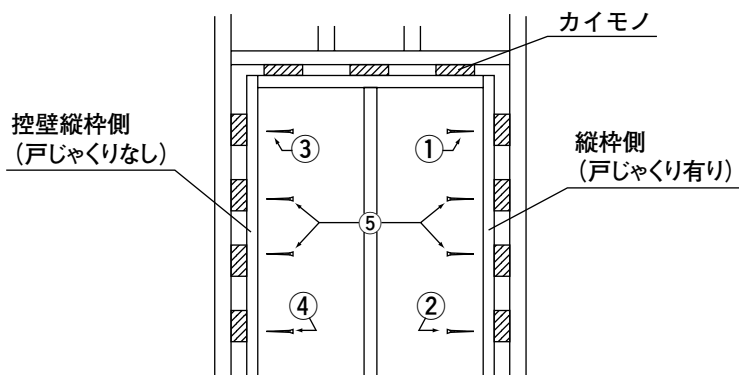
<フロア厚みが12mmより厚い場合>
（8尺高扉の場合）：（フロア厚み）ー12mmの厚みのカイモノを縦枠の下に設置してください。
（7尺高扉の場合）：297mm ー（フロア厚み）カット

（例） 8尺高扉を使用し、フロア厚み15mmの時
15mmー12mm＝3mm ⇨ 3mmのカイモノを縦枠の下に設置

三方枠を組んでください。

組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。

### 丸ナットの取付け

丸ナットを鴨居に差し込んでください。
丸ナットの穴が枠組立ボルトの穴に合わなかった場合は、ドライバーにて下図のように直してください。

### 枠の組立て

縦枠と上枠をズレのないようにしっかり合わせ、枠組立ボルトにて組立てください。

# 施工手順

## 1 開口部への枠の取付け

①枠を開口部にはめこんで縦枠側（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

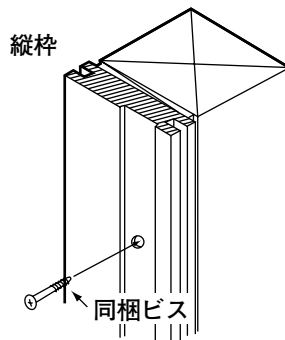
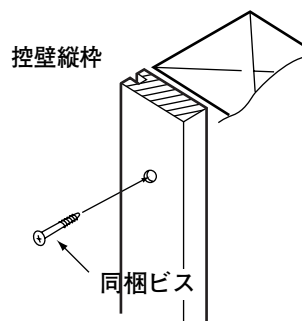
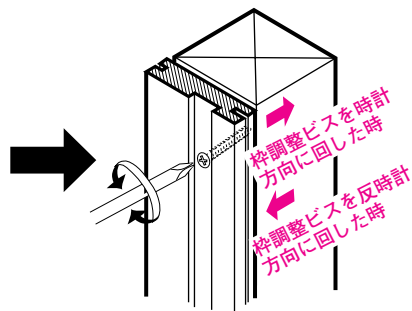
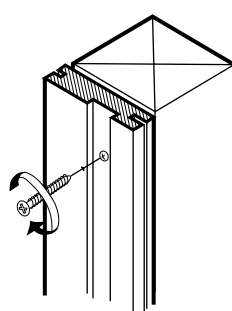
②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

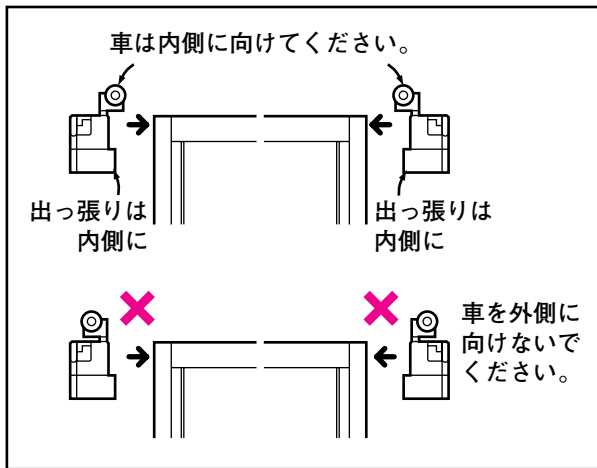
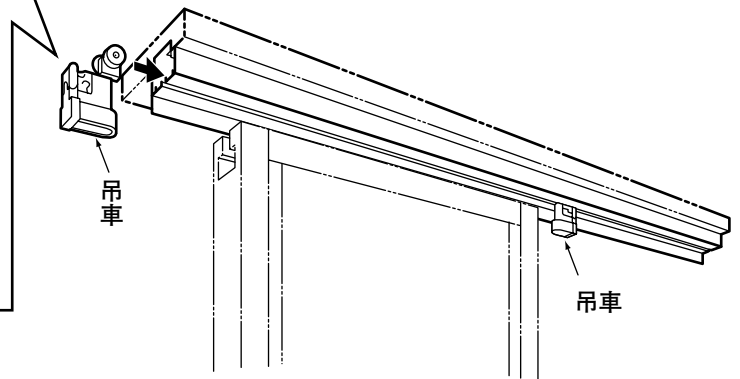
⚠ **注意** 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

必ず戸じゃくりのリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。

同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

①まず枠調整ビスで枠を固定します。

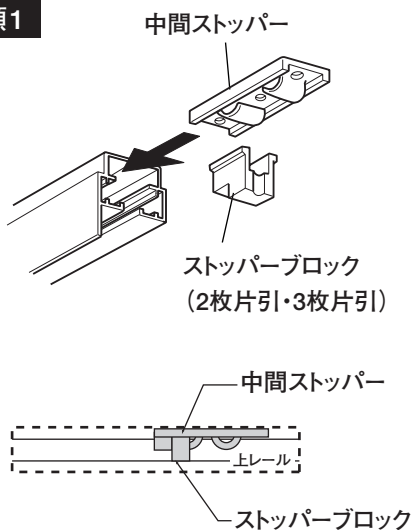
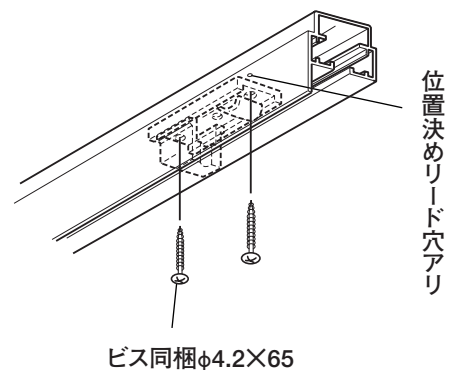
②枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

| 方　　立 | 上　　枠 |
|---|---|
| 裏面からビスで固定してください。（現場手配） | 上枠をℓ＝50以上のビス（現場調達）を用いてピッチ300間隔で固定してください。 |

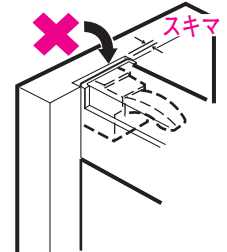
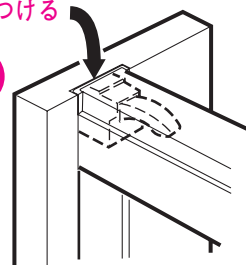
**2** 吊戸レールは次の図を参考に各部品の取付けと上枠への固定を行ってください。

1）吊戸レールの中に「吊車」を挿入方向に注意し入れてください。

「吊車」の吊戸レール挿入

2）吊戸レールの明りもれ防止部の向き、サイズ等に注意し、必要に応じて「中間ストッパー」「ストッパーブロック」「吊戸ストッパー」をはめこんでください。

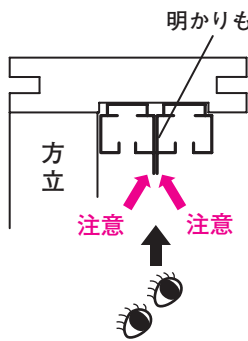
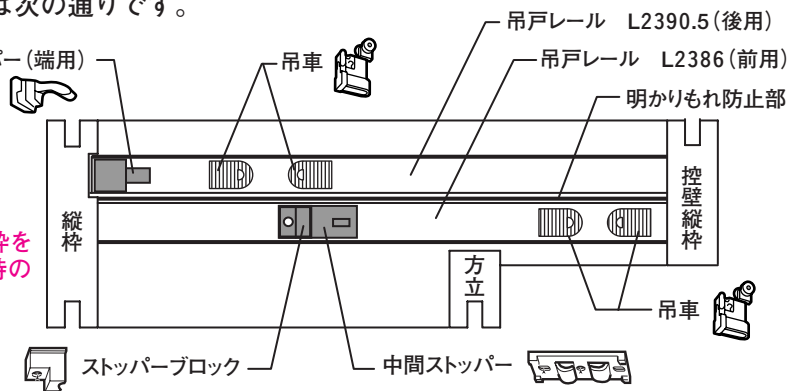
「中間ストッパー」「ストッパーブロック」の取付け手順

「吊戸ストッパー（端用）」の吊戸レールはめこみ

⚠ 注意

レールは、ストッパー側にすきまができないように取り付けてください。

3）「同梱のビス（φ4.2×65）」で上枠に固定してください。

各タイプ別の吊戸レールサイズ、向き、挿入部品は次の通りです。

**2枚片引の場合**　※図は右引き

※レールの明りもれ防止部は図のように取付けてください。

明かりもれ防止部
方立
注意
注意

右図は、上枠を下から見た時の配置です。

吊戸ストッパー（端用）
吊車
吊戸レール　L2390.5（後用）
吊戸レール　L2386（前用）
明かりもれ防止部
縦枠
控壁縦枠
方立
吊車
ストッパーブロック
中間ストッパー

**3枚片引の場合**　※図は右引き

明かりもれ防止部
方立
注意
注意

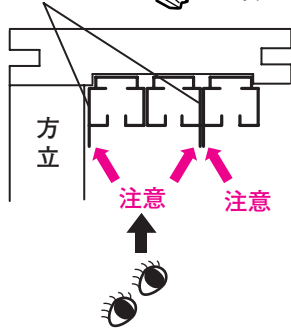
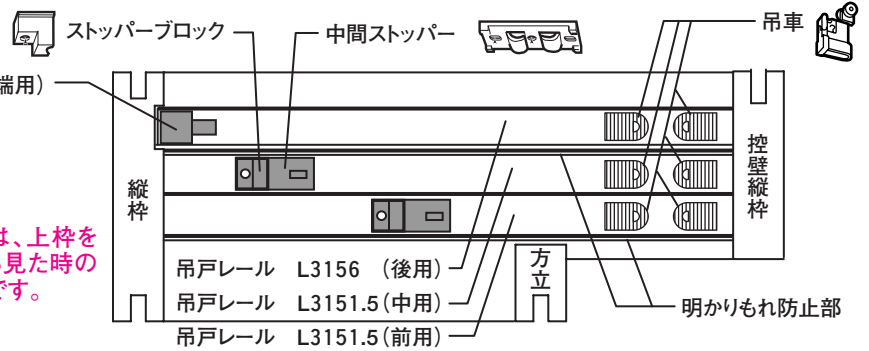
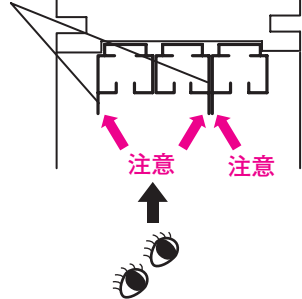
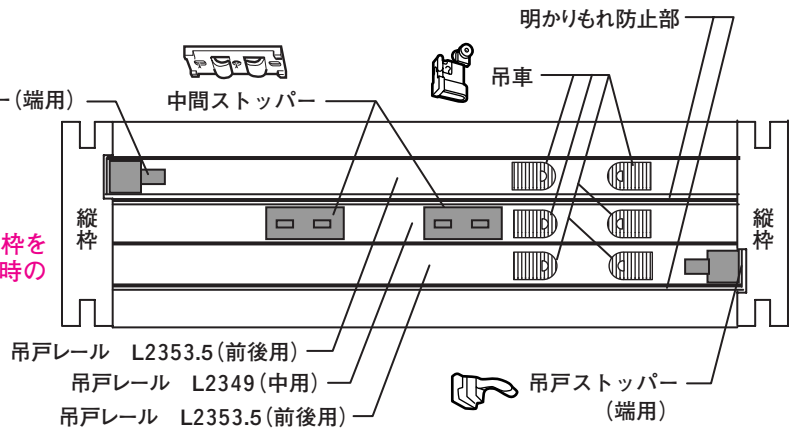
右図は、上枠を下から見た時の配置です。

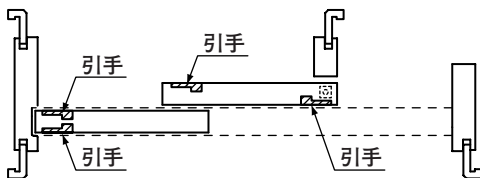
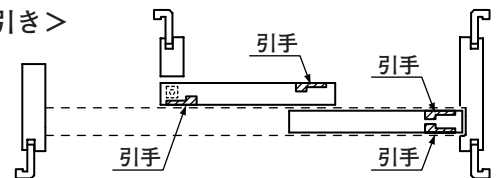
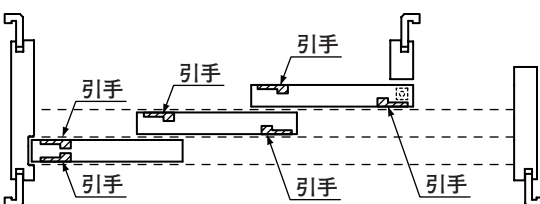
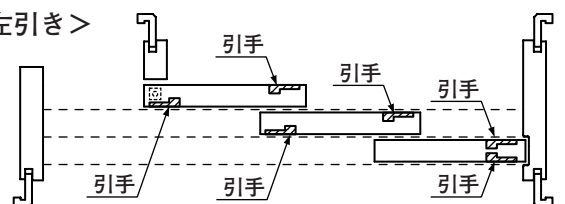
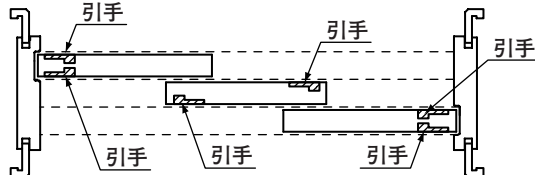
ストッパーブロック
中間ストッパー
吊車
吊戸ストッパー（端用）
縦枠
控壁縦枠
方立
吊戸レール　L3156　（後用）
吊戸レール　L3151.5（中用）
吊戸レール　L3151.5（前用）
明かりもれ防止部

**3枚引違の場合**

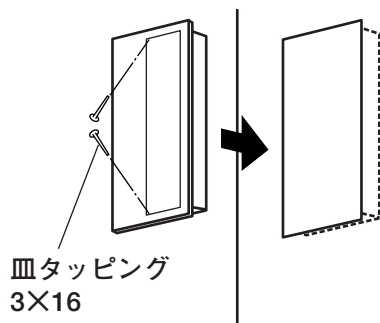
明かりもれ防止部
注意
注意

右図は、上枠を下から見た時の配置です。

明かりもれ防止部
吊車
吊戸ストッパー（端用）
中間ストッパー
縦枠
縦枠
吊戸レール　L2353.5（前後用）
吊戸レール　L2349（中用）
吊戸レール　L2353.5（前後用）
吊戸ストッパー（端用）

## 3 扉（ウッド）の取付け位置について

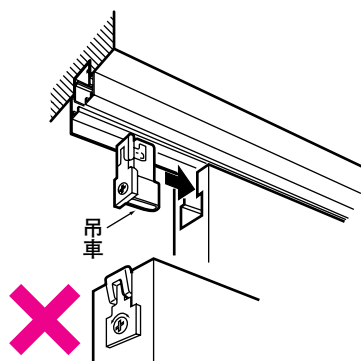
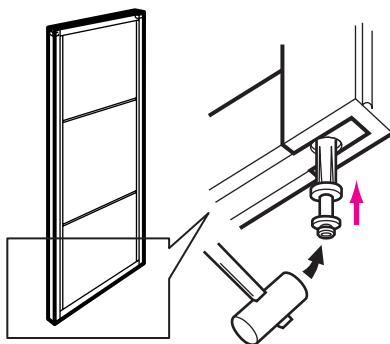
ウッド扉の場合、下図位置に引手が位置するように吊り込んでください。

## 4 扉の吊込

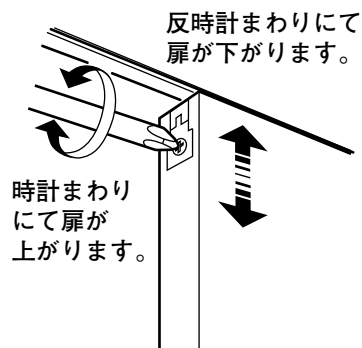
1）引手の取付（ウッド扉の場合）
ウッド扉の場合は、扉に引手を取付けてください。（引手は別梱）

2）ガイドローラーの取付け
（2枚片引＝扉1枚・
3枚片引＝扉2枚・
3枚引違＝扉3枚）

⚠ 注意 同梱の取付ビスでしっかり固定してください。

### 2枚片引・3枚片引の場合

3）ガイドピンの位置出しのため、方立側に、ガイドローラーを取付けていない扉を吊りこんでください。
（ガイドローラーを取付けた扉は下レールを取り付けた後に吊りこんでください。）

⚠ 注意 必ず吊車を完全にはめこんでください。

## 5

吊車の調整ビスで扉と枠のスキマを調整してください。
（調整可能範囲6mm）

⚠ 注意

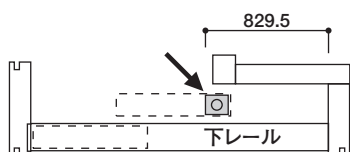
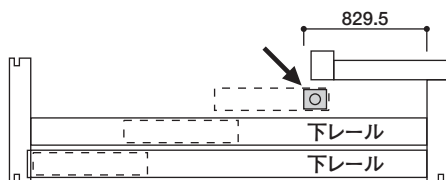
調整吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し手直ししてください。

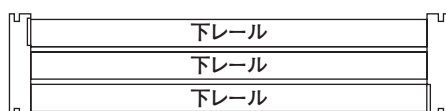
## 6 ガイドピン（方立側）と下レールを床に取り付けてください。

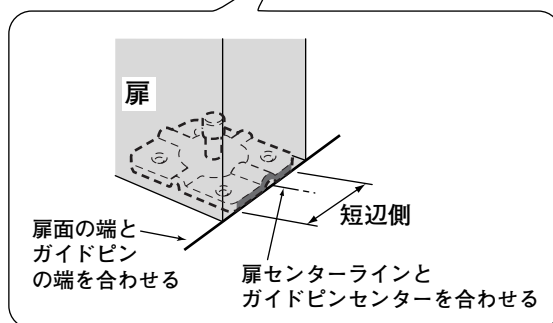
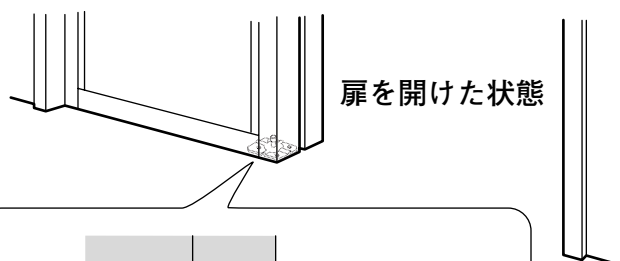
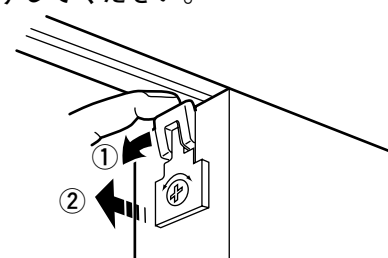
⚠ 注意 方立側に吊りこんだ扉は、必ず扉の上下調整（5）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

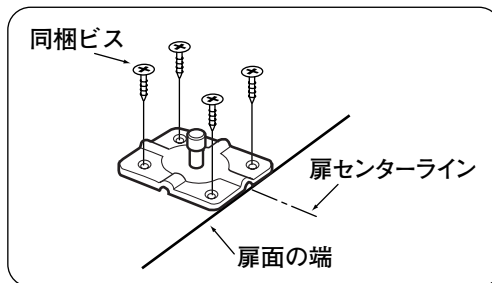
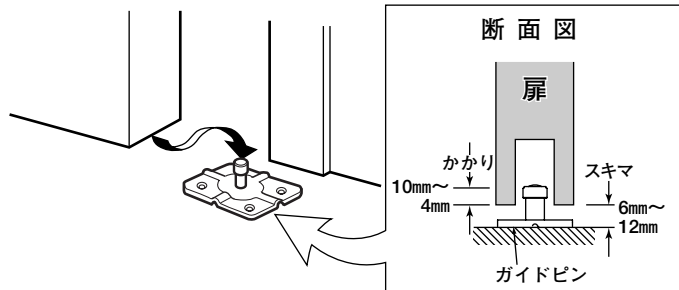
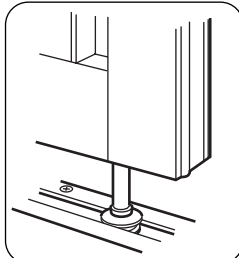
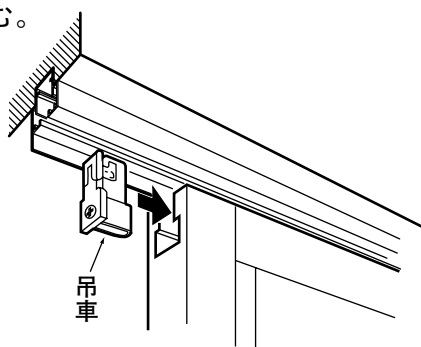
吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

ガイドピンの取付け位置：→

【2枚片引】

【3枚片引】

※扉はガイドピンを中心に扉巾分だけ左右にスライドします。

【3枚引違】

※下レールは縦枠の戸じゃくり溝に合わせ同梱のビスで床に固定してください。

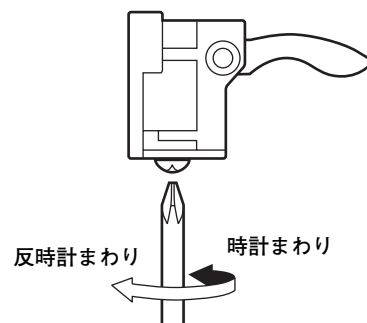
① ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。

② ガイドピン側の吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

つまみを引っ張ればはずれます。

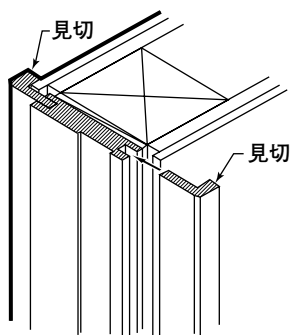
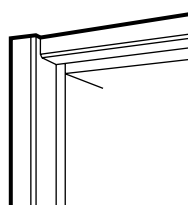
③ ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。

④ 方立側にガイドローラーのつけていない扉をガイドピンに、ガイドローラーのついた扉は下レールにそれぞれはめこんでください。

⑤ 再び吊車をはめこむ。

⑥ 扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

⚠ 扉下木口と床面とのスキマは 4 mm以上あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

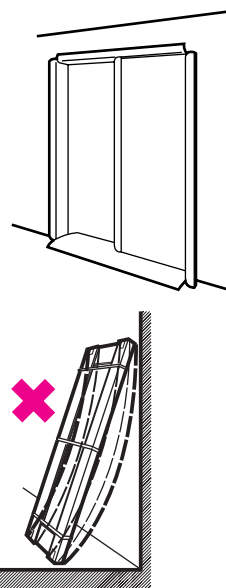
## 7 吊戸ストッパーの調整ビスでキャッチ力を調整してください。

時計まわりにて、キャッチ力が強まります。
反時計まわりにて、キャッチ力が弱まります。

## 8 見切の取り付け

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。
見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。
※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

シンプルタイプ
縦勝ちの納めになっています。

## 9

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

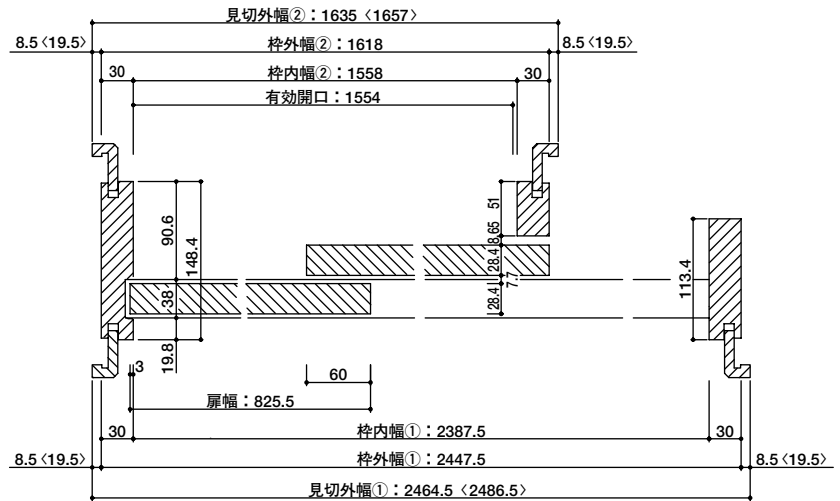
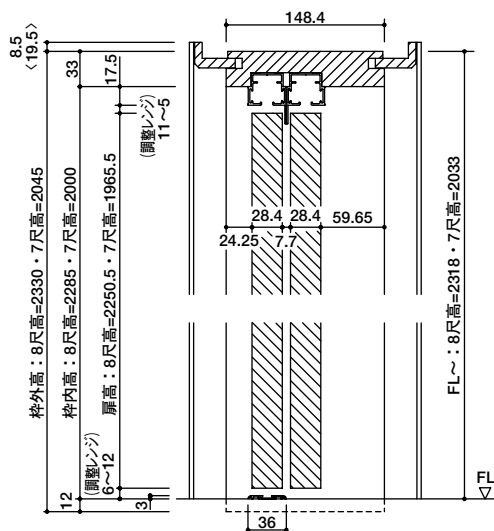
※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

# 寸法図

## 吊戸2枚片引寸法図

※図は右タイプ（R）

スケルトンタイプ

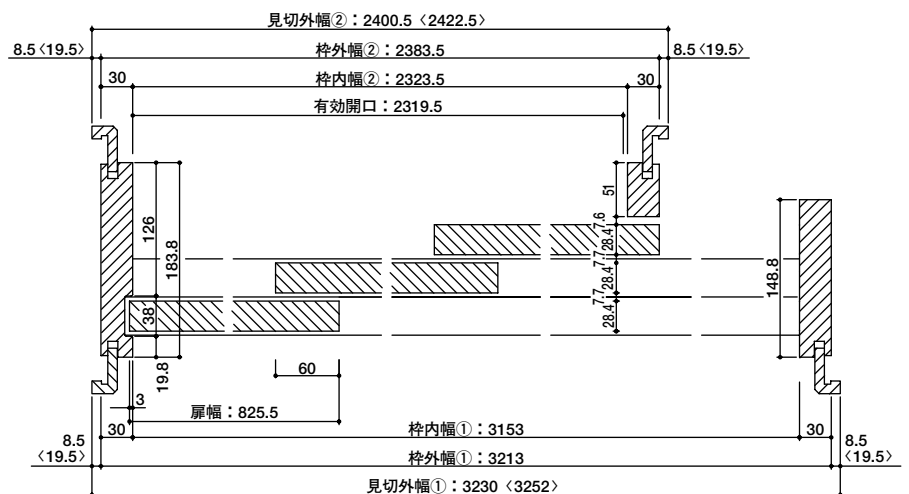
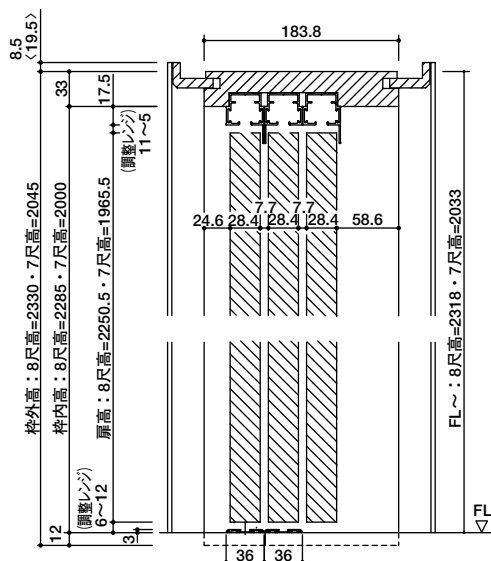
ウッドタイプ

※図は見切B、C使用の場合
※〈　〉は見切Aの場合

## 吊戸3枚片引寸法図

※図は右タイプ（R）

スケルトンタイプ

ウッドタイプ

※図は見切B使用の場合
※〈　〉は見切Aの場合

# 吊戸3枚引違寸法図

スケルトンタイプ

ウッドタイプ

※図は見切B、C使用の場合
※〈　〉は見切Aの場合

148.4
8.5〈19.5〉
33
17.5
(調整レンジ)11～5
枠外高：8尺高=2330・7尺高=2045
枠内高：8尺高=2285・7尺高=2000
扉高：8尺高=2250.5・7尺高=1965.5
FL～：8尺高=2318・7尺高=2033
7.7 7.7
23.9 28.4 28.4 28.4 23.9
(調整レンジ)6～12
12
3
FL
36 36 36

有効開口：1517
3
19.8
38
148.4
90.6
7.7 7.7 28.4 28.4 28.4
60
扉幅：825.5
3
30
枠内幅：2350.5
30
8.5〈19.5〉
枠外幅：2410.5
8.5〈19.5〉
見切外幅：2427.5〈2449.5〉

# 部材断面図

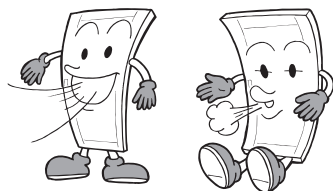
# 見切枠壁厚対応

| | | 見切B | 見切C |
|---|---|---|---|
| ①壁厚 | | 148.5〜166.5 | 166.5〜184.5 |
| ②枠サイズ | 横用 | 162.4〜180.4 | 180.4〜198.4 |
| | 縦用 | 172.4〜190.4 | 190.4〜208.4 |
| ③見切サイズ | 横用 | 22 | 31 |
| | 縦用 | 27 | 36 |

| 見　切 | | B | C |
|---|---|---|---|
| ① 壁 厚 | | 148.5〜166.5 | 166.5〜184.5 |
| ②枠外寸 | 横 用 | 162.4〜180.4 | 180.4〜198.4 |
| | 縦 用 | 172.4〜190.4 | 190.4〜208.4 |
| ③見切サイズ | 横 用 | 22 | 31 |
| | 縦 用 | 27 | 36 |

# 木質材料の性質について

## 木質開閉間仕切扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた開閉間仕切扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は開閉間仕切扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、開閉間仕切扉の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

## 「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、開閉間仕切扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③開閉間仕切扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は仕切られた両側の部屋の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

## 商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

**■対象商品**

開閉間仕切

**■保証期間**

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

**■保証期間内でも以下の場合は有料となります。**

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

**ご相談窓口について** ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

### 製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室
**0120-787-505**
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 06-6452-6000へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

### 修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社
**06-6452-6032**

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

**http://www.daiken.jp/service/**

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

**ご相談窓口における個人情報のお取扱い**

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。） 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

| 営業所 | 電話 |
|---|---|
| 北海道営業部 | |
| 札幌営業所 | ☎ 011-207-5330 |
| 函館事務所 | ☎ 0138-47-7191 |
| 札幌特販営業所 | ☎ 011-207-5330 |
| 旭川営業所 | ☎ 0166-24-1377 |
| 帯広事務所 | ☎ 0155-25-8421 |
| 東北営業部 | |
| 盛岡営業所 | ☎ 019-636-1161 |
| 秋田事務所 | ☎ 018-862-4441 |
| 仙台営業所 | ☎ 022-243-6621 |
| 山形事務所 | ☎ 023-632-2711 |
| 東北特販営業所 | ☎ 022-243-6621 |
| 青森営業所 | ☎ 017-729-2201 |
| 郡山営業所 | ☎ 024-946-7211 |
| 信越営業部 | |
| 新潟営業所 | ☎ 025-285-5887 |
| 信越特販営業所（新潟） | ☎ 025-285-5887 |
| 長野営業所 | ☎ 026-222-6311 |
| 信越特販営業所（長野） | ☎ 026-222-6311 |
| 長岡営業所 | ☎ 0258-33-5734 |
| 松本事務所 | ☎ 0263-40-0370 |
| 北関東営業部 | |
| 宇都宮営業所 | ☎ 028-621-6431 |
| 宇都宮特販営業所 | ☎ 028-621-6431 |
| 埼玉営業所 | ☎ 048-669-0660 |
| 熊谷事務所 | ☎ 048-527-5601 |
| 群馬営業所 | ☎ 027-364-9811 |
| 首都圏営業部 | |
| 東京営業所 | ☎ 03-6271-7731 |
| 山梨事務所 | ☎ 055-275-7931 |
| 横浜営業所 | ☎ 045-222-4781 |
| 相模原事務所 | ☎ 042-770-9130 |
| 平塚事務所 | ☎ 0463-20-4771 |
| 多摩営業所 | ☎ 042-571-3434 |
| 水戸営業所 | ☎ 029-248-8511 |
| つくば事務所 | ☎ 029-849-2344 |
| 千葉営業所 | ☎ 043-287-8491 |
| 我孫子事務所 | ☎ 04-7183-4070 |
| 静岡営業所 | ☎ 054-288-3881 |
| 首都圏住宅営業部 | ☎ 03-6271-7721 |
| 首都圏集合住宅営業部 | ☎ 03-6271-7751 |
| 首都圏リモデル営業部 | ☎ 03-6271-7761 |
| 中京営業部 | |
| 名古屋営業所 | ☎ 052-205-5811 |
| 三河事務所 | ☎ 0564-65-8681 |
| 岐阜事務所 | ☎ 058-246-6752 |
| 名古屋特販営業所 | ☎ 052-205-5811 |
| 浜松営業所 | ☎ 053-458-5751 |
| 三重営業所 | ☎ 059-226-7073 |
| 北陸営業部 | |
| 金沢営業所 | ☎ 076-262-3211 |
| 富山事務所 | ☎ 076-429-7250 |
| 福井事務所 | ☎ 0776-26-8508 |
| 北陸特販営業所 | ☎ 076-262-3211 |
| 近畿営業部 | |
| 大阪営業所 | ☎ 06-6915-7041 |
| 和歌山事務所 | ☎ 073-473-8090 |
| 大阪特販営業所 | ☎ 06-6915-7041 |
| 兵庫営業所 | ☎ 078-321-1822 |
| 京都営業所 | ☎ 075-341-8151 |
| 沖縄営業所 | ☎ 098-879-4916 |
| 中国営業部 | |
| 広島営業所 | ☎ 082-505-2525 |
| 山口事務所 | ☎ 083-974-0303 |
| 広島特販営業所 | ☎ 082-505-2525 |
| 岡山営業所 | ☎ 086-262-2271 |
| 岡山特販営業所 | ☎ 086-262-2271 |
| 四国営業部 | |
| 高松営業所 | ☎ 087-866-8500 |
| 高知事務所 | ☎ 088-885-6202 |
| 高松特販営業所 | ☎ 087-866-8500 |
| 松山営業所 | ☎ 089-945-8569 |
| 徳島営業所 | ☎ 088-622-6261 |
| 九州営業部 | |
| 福岡営業所 | ☎ 092-413-2345 |
| 北九州事務所 | ☎ 093-522-1224 |
| 長崎事務所 | ☎ 0957-35-0161 |
| 大分事務所 | ☎ 097-533-8701 |
| 福岡特販営業所 | ☎ 092-413-2345 |
| 熊本営業所 | ☎ 096-372-5211 |
| 南九州特販営業所 | ☎ 096-372-5211 |
| 鹿児島営業所 | ☎ 099-254-8300 |
| 宮崎事務所 | ☎ 0985-26-5908 |
| 西部住宅営業部 | ☎ 06-6452-6232 |


**大建工業株式会社**

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2009.08 現在